伍桃

新潟医療福祉大学 同窓会誌

2013.9
No.9 秋号

NIIGATA UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE
AN ALUMNIBULLETIN
GOTOH

特集

PT・HN連携研修会開催報告 P1

理学療法学科 健康栄養学科

- 新役員紹介 同窓会総会報告 P5
- Tool of Professional 国家試験合格体験談 P6
- 同窓生は今 図書館利用ガイド P7
- 学科近況 P9
- 新学科紹介 P11
- 強化指定クラブ紹介 長野県人会設立 学術集会案内 P12
- 各種証明書の請求について P13
- 大学院案内 ホームカミングデーについて P14
- ホームカミングデー開催案内 伍桃祭案内 P15

首都圏支部発 PT・HN連携研修会開催報告

理学療法学科　健康栄養学科

6月29日(土)に東京・新宿ワシントンホテルにて「PT・HN連携研修会」が開催されました。
生涯学習の趣旨で同窓会首都圏支部の発案により実現した企画であり、多職種連携教育をテーマに掲げる新潟医療福祉大学のスピリッツを生かし理学療法と健康栄養の両分野をコラボレートさせるという、ユニークかつ有意義な研修となりました。
当日は全体会(PT・HN連携発表)、PT分科会、HN分科会、懇親会の4部構成で行われ、発表者・見学者合わせ25名の同窓生が参加して真剣かつ楽しいひとときを過ごしました。

受付～全体会(連携発表会)

齋藤 成也さん

北林 紘さん

全体会(連携発表会)

◆研究発表①
「特発性肺線維症(IPF)にどう挑むか～当院での経験～」
医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院 齋藤 成也(理学療法学科2011年卒)

◆研究発表②
「血清アルブミンに影響を与える栄養評価項目の検討」
医療法人新光会 村上記念病院 北林 紘(健康栄養学科2005年卒)

◆研究発表③
「嚥下食ピラミッドの活用による 摂食・嚥下評価と経口移行症例」
新潟県厚生農業協同組合連合会 けいなん総合病院 高橋 洋平(健康栄養学科2009年卒)

概要説明

あらかじめ理学療法と健康栄養の両分野に関連する内容の研究発表を想定して作成した資料に基づき、理学療法学科、健康栄養学科の3名の同窓生から発表していただきました。

高橋 洋平さん

齋藤 成也さん

今回は特発性肺線維症の症例を提示させて頂きました。多職種の方から御意見を頂き、当院での介入方法とは異なった視点からも考えることが出来ました。また、他演者の発表においても食形態の分類や臨床研究の問題点など、他分野の基礎的な情報から少し挑戦的な内容までさまざまで、とても有意義な時間になったと感じています。また、出身校が同じであることが発言のハードルを下げてくれたため、参加者が皆自由な意見を発言できていたと思います。そのため、より積極的な意見の交換が出来ました。「聞く」という姿勢が必要な研修会は多くありますが、「話す」という姿勢がこの研修会をよりよくすると思います。皆さんの一言で研修会を盛り上げてみてはいかがでしょうか。

北林 紘さん

1.感想
研修会という堅苦しい雰囲気はなく、非常にアットホームな雰囲気の中で発表をさせていただきました。今回はPT・HN連携研修会という事でしたが、学部は全く関係なく、多くの質疑、御意見をいただいたことや、同窓生の活躍を伺う事ができ、非常に貴重な経験をさせていただきました。

2.研修会のメリット
初対面の方に質問をするというのはなかなか遠慮しがちなものですが、同窓生という共通点がある事で、先輩、後輩、学部を問わず、意見交換を行える場でした。また、他職種を理解するためにも非常に有意義な機会だと思います。

3.同窓生へ一言
私は現在、病院に勤務しながら社会人学生として大学院へ進学しました。一度臨床の場に出た事で、学生時代は興味の薄かった食品加工学や食品分析の重要性を再認識し、それらを臨床で応用したいとの気持ちが強くなり進学を決めました。皆さんにも更に学びたい事がありましたら是非、大学院進学をお勧めします。

高橋 洋平さん

1.感想
PT・HN連携ということで、異なった専門分野の発表を聞き、発表内容に関して意見交換を図ることは非常に学びの多い機会となりました。

2.研修会のメリット
この会の特徴は、「同じ大学で学んだ者たちが、学年・職種を超えて」意見を交わせる場という点です。同じ大学で学んだ者がいかに頑張っているか知ることは、私自身、改めて仕事に対する意欲を掻き立てられる機会となりました。また、PT・HN合同であったため、普段聞けない、他職種の視点からの意見交換はとても学び多いものでした。

3.同窓生へ一言
日々の仕事の中で仕事に対する、目標やモチベーションを維持していくのは大変で、時に心折れることがあるかと思います。私自身、何度そんな機会があったことか。でも、その度に奮い立たせてくれた存在が大学という同じ場所で、時を過ごした仲間の存在です。同窓会はそんな仲間の集う大切な「場所」だと思います。これからも、学年・職種問わず、皆さんと色々な話が聞けたらと思います。

PT分科会

理学療法学科

横山 絵里花さん

PT分科会

◆研究発表①

「訪問リハビリにおける後ろ向き研究の問題点」

医療法人社団らぽーる新潟 ゆきよしクリニック 横山 絵理花（理学療法学科2011年卒）

◆研究発表②

「徒手的理学療法におけるEBMの適応」

医療法人社団KOSMI こん整形外科クリニック 佐々木 雄大（理学療法学科2010年卒）

医療法人社団秀匠会 わしざわ整形外科 川上 祐貴（理学療法学科2010年卒）

※共同発表です。

概要説明

理学療法学科の同窓生2名の方より専門分野における研究発表が行われました。

久保雅義教授の講評、アドバイスを得て「久保ゼミ」ともいえるアットホームな雰囲気で進行しました。作業療法学科、社会福祉学科の同窓生（役員）も参加して意見交換を行いました。

佐々木 雄大さん

久保 雅義 教授

横山 絵里花さん

1.感想

今回の研修会は、発表者として参加させて頂きました。PTの参加者が少ないと伺っていた為どのような研修会になるのかと不安もありましたが、他職種の方からも自身の体験談を踏まえた上での意見・質問が多く聞かれ、とても活発な意見交換が出来ました。短時間ではありましたが、今後臨床や研究を行っていく上で大切な事を学ぶ事が出来、充実した時間でした。

このような貴重な研修会を開催して下さった同窓会役員の方々有難うございました!

2.研修会のメリット

普段は違う現場で働いている同窓生と交流を図れる事が1番のメリットだと思います。

栄養・社会福祉など様々な分野の方と意見交換が出来、自分自身の視野を広げるきっかけになりました。また、様々な現場で活躍している先輩方との交流は、モチベーションを上げるのにも良い機会だと思います。

3.同窓生へ一言

連携研修会は、同窓生との交流や自分の視野を広げるきっかけを与えてくれます。ぜひ、皆さんも参加してみて下さい。

佐々木 雄大さん

1.感想

研修会では異なる病院・施設の方同士で現場の問題について相談しあう場が多くありました。環境や職種によって個々が考える「患者さんに必要なもの」は異なり、その多くが自らの専門性と他職種の意見の両面からよく考えられた意見で感心の連続でした。

2.研修会のメリット

大学時代、繰り返し言われながら、あまり意義が実感できなかった「連携教育」や「生活の質」を現場の問題を通して実感できる良い機会になるものと思います。

3.同窓生へ一言

私自身、気楽な気持ちで参加・発表させていただいた会でしたが、本当に気を使わない良い意味で遠慮の少ない議論ができる会だったと思います。

これまでの自分の臨床活動や考えのレベルアップや、同窓生の活躍に奮起できる会です。是非このような活動が今後も続いていくことを願います。

田村 祐美さん
（理学療法学科2007年卒）

PT分科会の様子について

発表された3名は日頃から課題意識を持ち、積極的に仕事と研究を両立されているようで、先輩である私にとっては社会に出てすぐの後輩たちの姿が大変頼もしく、輝いて見えました。残念ながらPTの参加者が少なく、正直さみしい感じでしたが、他の学科からも参加者がおり、他職種からの貴重なご意見、ご感想を頂けて嬉しく思いました。

分科会には久保先生が参加され、それぞれの発表や他の参加者の意見等に対して的確なアドバイスをして下さり、他職種への話題も拡がってPTの分野に関する事だけでなく、様々な意見交換を行うことができました。久保先生自身も後輩たちや他職種からの意見を積極的にメモを取られ、全体の終了時には来て良かったと言って頂けました。

私は同窓会のPT役員として参加しました。まだまだ役不足な点が多々ありましたが、久保先生や後輩たち、そして他学科から参加して頂いた皆様のお陰で、無事に分科会を行うことができました。この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

高野 葵さん
（作業療法学科2011年卒）

PT分科会に参加した感想

分科会についてですが、OTとしてPT分科会に参加して、リハビリの専門職として臨床で日々悩んでいる事を他職種と共有し、考える事ができとても有意義な時間でした。特に、今回は臨床研究の方法や実用性についても久保先生に指導して頂きながら実際の臨床に活きる研究の重要性を再認識させられました。少人数でしたが和やかな雰囲気の中熱い話ができました。

HN分科会

健康栄養学科

青木 智子さん

概要説明

健康栄養学科の同窓生2名の方より専門分野における研究発表が行われました。
遠藤和男教授の講評、アドバイスをいただき、さながら講義を受講しているようでした。質問、意見が活発に飛び交い、一体感のある雰囲気で進められました。

遠藤 和男 教授

HN分科会に参加して

岡村 聡之さん
（健康栄養学科2005年卒）

東京開催の第一回目分科会としては参加者も多く、素晴らしく有意義な会でした。さすが健康栄養!何か目標を掲げれば、自然と協力しながら必ず達成できる学科だと改めて感じました。

世代関係なく、管理栄養士のスキルアップに繋がります。日頃の悩みを気兼ねなくディスカッションできる会です。今回は病院栄養士と学校栄養士の2演題でしたが、各分野から1題あれば、さらに面白くなりそうです。

在学生のためにも、同窓生が夫々の道で輝き続けること。国家資格に更新はないが、己を磨かなければ輝かない。そのためには刺激が不可欠。学舎を共にした仲間からの刺激は格別である。

HN分科会

◆研究発表①
「栄養・嚥下サポートチーム（NSST）の活動とその介入効果 ～NST専従管理栄養士となって～」
新潟県立吉田病院 青木 智子（健康栄養学科2005年卒）

◆研究発表②
「学校生活における身近な食育推進」
新発田市立豊浦中学校 野水 碧（健康栄養学科2009年卒）

野水 碧さん

青木 智子さん

1.感想
今回の研修会では、久々に会った同級生や新たに出会った同窓生と貴重な時間を過ごすことができました。発表の機会を頂いたことで、自分の日々の業務を振り返る良いきっかけとなりました。そして、研究発表や情報交換を通じて、みんなが各分野で経験を積み、確実に成長していることが分かりとてもいい刺激を受けました。

2.研修会のメリット
私の職場は病院で、チーム医療や院内連携、地域連携など、仕事上でも多専門職種共同で患者さんのサポートを行っています。なので、今回のようなPT·HN共同開催の研修会は実践的かつ有意義でした。今後も色々な学科同士のコラボレーション研修会があることを期待しています。

3.同窓生へ一言
忙しい日常の中に身を置いていると、いつの間にか初心を忘れてしまったり、ついつい気がゆるんだりしてしまうものですが、そんな時は、同窓会で旧友と楽しく話してリフレッシュしたり、このような研修会で情報交換をして、明日への活力をもらうのもいいのではないでしょうか!

野水 碧さん

1.感想
1ヶ月ほど前に依頼を受けたのですが、仕事と並行した資料作りは正直大変でした…。しかし、このような発表の機会を与えていただき、自分自身の仕事について改めて振り返ることができました。また、学校に勤める栄養士としての職務内容や悩み等をみなさんに理解してもらえるよい機会となりました。全体会の医療現場における卒業生の実践報告や、分科会の和やかな雰囲気の中での積極的な意見交換等、とても有意義な時間を過ごすことができました。

2.研修会のメリット
医療からかけ離れた分野にいる私にとっては、他職種及び他分野への積極的な理解につながる場であると感じました。また、理解し合うことでお互い刺激になり、各々の職における向上心も高まるというメリットもあると思います。

3.同窓生へ一言
旧友に会えるだけでなく、学生時代には話す機会が少なかった先輩、後輩と多くの情報交換をすることができ、貴重な経験をさせていただきました。こんな機会は滅多にありません!ぜひ次回はみなさんにも参加していただけると嬉しいです。

懇親会

PT・HN連携研修会を終えて

江里口 恵子さん
（社会福祉学科2007年卒）

1.SWとして参考になった点

医療と福祉の架け橋になる際や、職種間の架け橋になる際、本人や家族の内面と接する機会が多いです。そんな時に多角的に物事を捉えていくことの重要性に気付かされました。現場で他職種を巻き込んで一緒に検討していくことは、決まった機会や、少ない場面の中になっているように感じます。その人らしい生活の自己実現に向けて、制度や経済的な面での知識を含め、架け橋としての役割を太く強くしたいと思いました。

2.感想

他学科の研究発表を聞く機会は普段なかなか持てないので、貴重な時間になりました。職種、分野が異なる中で、社会福祉士として力になれること、なりたいことに気づくこともできました。また、期待してもらえていることもありました。職場や職務は違えども、質の高い医療や福祉の提供をしていくこと、また、その人らしい生活を送ってもらえるようにアプローチしていくという気持ちは変わらない同じ想いなんだと感じられたことが嬉しかったです。学年や学科を超えて卒業生に会えたことも心強く思いました。自身の職種目線だけでなく、他職種に対して敬意を込めたり、尊重する想いを素直に伝えていくことができた機会になったのではないかと思います。

3.連携について感じたこと

連携の大切さを分かっているようで、実際は業務に追われる中で充実しているのかと問われれば自信がない気持ちにもなります。日々制度やメンバー、対象者は変化し続けています。そんな中で、職場内だけでなく、職場の枠を超えた繋がりが持てることは、すごく貴重な機会だと感じました。他職種の想いを知ることがまずは充実した連携へと発展して行くのだと改めて感じました。

4.研修会に参加して得られたこと

他職種の見解だけでなく、他県や、他職場の考え方や役割を学ぶことができました。また、様々な意見に対して、他学科の先生からのコメントがいただけることは本当にありがたいことだと思いました。モチベーションも高まりました。

5.ヒントになったこと

チームとして、何ができるか。社会福祉士として何ができるか。そのことを考えながら日々の業務を行っていく。当たり前のことかもしれませんが、ふと、日々の業務でいっぱいになってしまうことが多いです。視野を拡げながら業務をしていくということのヒントになりました。

6.自身にとって有益な点

新しい仲間、知識を得ることが出来る。モチベーションのアップにつながる。懐かしい仲間や先生に会える!

7.同窓会にとって有益な点

卒業後の個々や大学、先生、地域との繋がりを維持できること、そしてそれ以上に、チーム、連携が強化されることで、新潟県内という枠を超えた形で、在学生や新しい卒業生、同窓生同士の柔軟な活躍が期待出来るようになることです。

8.大学にとっての有益な点

卒業生が地域に散らばり、先生方も入れ替わることもある中で、大学以外に『拠点』として集まれたり、議論できる場所があることは強みだと思います。

初めての試みで、しかも首都圏支部発のイベント。記事をお読みになっていかがでしたでしょうか。

ご参加いただいた健康栄養学科の遠藤和男教授、理学療法学科の久保雅義教授からは、「成功と言ってよい」とお褒めのお言葉をいただきました。そして社会人として成長した卒業生の姿を見て感動したとのコメントを頂戴しました。理学療法と健康栄養の両分野のコラボレートが実現することが証明され、新鮮な驚きと発見があった研修会でした。今後も様々な会を企画していきますので皆様宜しくお願いします。

首都圏支部長挨拶

この度、同窓会首都圏支部の支部長を務めさせて頂く事になりました。現在、大学を卒業して4年目になります。臨床の現場で働いて実感したことは、新潟医療福祉大学の卒業生のモチベーションの高さでした。このモチベーションをもっと高めていけるような企画はないだろうかと、同窓会の役員になった時から考えており、先日、首都圏支部で初の試みとなる理学療法学科と健康栄養学科の合同で研修会を開催しました。

今回の研修会は、臨床に出た卒業生が、学会発表に向けてのプレ発表として、または、日頃の臨床で取り組んでいる他職種との連携をテーマに、各学科の先生を新潟からお招きして、卒業生の臨床に向けて効果的な時間にしたいと思い、研修会を開催しました。

初の試みで、どうなることかと思いましたが、同窓会支援室、同窓会本部の全面的な協力によって、有意義な研修会を開くことが出来ました。

今後も、首都圏支部では学科毎にこのような研修会を開催していくことで、首都圏の同窓生と各学科の先生方との繋がりを築き、同窓生のモチベーションを高めていけるよう頑張っていきますので、同窓生の皆様、どうかよろしくお願い致します。

首都圏支部長 **小林 賢司**
（理学療法学科2010年卒）

同窓会副会長
山口 正樹(健康栄養学科2006年卒)

同窓会副会長挨拶

会員の皆様こんにちは。今回の伍桃でも特集がありますが、6月29日（土）に理学療法学科と健康栄養学科の合同研修会を実施しました。大学でチーム医療を学んできた私たちは多職種とより密に連携する必要性を感じていると思います。本学同窓生だからこそ実現できた研修会では、同窓生からの発表や意見交換、近況報告など、内容が充実したものとなりました。そこで、今年のホームカミングデーは、卒業生からの専門職経験を踏まえた実践報告〈職場紹介を含む〉という内容で行いたいと思います。伍桃祭と同じ日に開催されますので、母校の変化や後輩の活躍を併せて見にきてください。お待ちしています。

New Face 新役員紹介

理学療法学科
吉田 拓人

理学療法学科
稲井 卓真

理学療法学科
鴨井 透

理学療法学科
宮越 のぞみ

作業療法学科
鈴木 公美

作業療法学科
松本 卓也

作業療法学科
山崎 健斗

作業療法学科
吉井 あい

言語聴覚学科
小熊 芳実

言語聴覚学科
菅原 利江

言語聴覚学科
鈴木 瑞穂

言語聴覚学科
眞柄 綾香

義肢装具自立支援学科
秋塲 周

義肢装具自立支援学科
家入 望美

義肢装具自立支援学科
南斉 佳佑

義肢装具自立支援学科
早川 修平

健康栄養学科
今井 紀彰

健康栄養学科
河野 仁美

健康栄養学科
小林 清美

健康栄養学科
山村 若奈

健康スポーツ学科
大平 紘史

健康スポーツ学科
小野 由子

健康スポーツ学科
佐藤 菜々香

健康スポーツ学科
佐藤 元紀

看護学科
土佐 奈都美

看護学科
甲賀 優貴

看護学科
佐藤 絵理

看護学科
矢口 美咲

社会福祉学科
小倉 直人

社会福祉学科
杵鞭 千春

社会福祉学科
庭野 貴代

社会福祉学科
長谷 一輝

平成25年5月25日（土）、新潟医療福祉大学にて第9回新潟医療福祉大学同窓会総会が開催されました。
そこで承認された平成24年度決算及び平成25年度予算について報告いたします。

平成24年度収支決算書　平成24年4月1日～平成25年3月31日

Ⅰ.収入の部

科目	予算額	決算額
1.会費収入	12,348,000円	12,310,000円
2.利息収入	3,000円	2,408 円
3.雑収入		
4.前年度繰越金	18,555,816円	18,555,816円
収入の部合計	30,906,816円	30,868,224円

Ⅱ.支出の部

科目	予算額	決算額
1.事業費	5,700,000円	3,554,922円
2.会議費	600,000円	407,724円
3.管理費	2,230,000円	1,599,752円
4.その他	1,100,000円	25,740円
支出の部合計	9,630,000円	5,588,138円

平成25年度収支予算書　平成25年4月1日～平成26年3月31日

Ⅰ.収入の部

科目	予算額
1.会費収入	11,710,000円
2.利息収入	3,000円
3.雑収入	
4.前年度繰越金	25,447,040円
収入の部合計	37,160,040円

Ⅱ.支出の部

科目	予算額
1.事業費	6,250,000円
2.会議費	800,000円
3.管理費	2,350,000円
4.その他	1,100,000円
支出の部合計	10,500,000円

Tool of Professional

特定医療法人慶友会 慶友整形外科病院
リハビリテーション科

作業療法士 坂井 力さん

（作業療法学科2008年卒）

□ 思い入れ

スプリントは着脱式装具の呼称であり、熱を加える事で柔らかくなり、素材をカットしてマジックテープなどを貼り付けて作成します。医師からの細かい依頼が来る事が多く、教科書にはないものを作成することもありやりがいのある仕事の一つです。

□ 勤務先の紹介

当院は整形外科病院であり各関節の専門の医師が在籍しており、年間約2,900件の手術を行っております。リハビリテーション科では主に術後の患者様に対してのリハビリテーションを行っております。

□ 同窓生へのメッセージ

大学を卒業しても、つながりが強くあることが本学の良いところだと思います。この絆を大切にして日々精進していけたらと思います。

坂井さんの仕事の流れ

1. 必要な寸法を計測する

2. 素材をカットする

3. 素材を対象者にモールディングする

4. 不必要な箇所をカットする

5. マジックテープ等を貼り付け完成

column

私はこれで国家試験に合格しました!

新潟医療福祉大学看護学科 助手
新潟医療福祉大学大学院 健康科学専攻 看護学分野 1年
平井 孝治さん（看護学科2010年卒）

合格のためのコツ

合格のコツは2点あります。1つは「強い原動力を作る」事、もう1つは「友人と共に勉強する」事です。

もちろん看護学科なので、看護師になりたいという気持ちを原動力にする人は多いと思います。ただ私の場合、マイナス思考人間という事もあって、「医療を少しかじった、ただの人になりたくない!」という強い不安が原動力になっていました。受験勉強中の辛い時期も、勉強するのが面倒くさく遊びたくなった時も、その事を思い起こしながら勉強に励んでいました。そのような時こそ何か強い原動力があるだけで、机に向かって勉強をする時間が増えるのではないかと思います。

次に友人と勉強する事。私は昔から一人で勉強をすることの方が、良いと思っている方でした。けれど国家試験勉強を学校で友人と共にしていると、国試に出そうな問題や用語の覚え方など、自分一人ではわからない、ためになる情報がたくさん入ってくる事に気づきました。また勉強の合間に友人と話した勉強の内容というのは忘れにくく、すぐに頭に入ってきますし、自分の勉強の進行状況も把握できると思います。そして何よりも、国家試験を終えた時の達成感は、友人と勉強した場合の方が大きいものだと、経験上感じました。ですので、友人と共に国家試験勉強に臨み、合格を目指してください。

次のステップのために

国家試験の問題はどこから手を付けて良いのかわからないと感じてしまいがちでしょう。まず必須の参考書として、「過去問」と「レビューブック」の2つがあります。これは私が学生時代に大変活用したものです。書店に行くと多くの参考書が出回っていて、いろいろと手を出したくなりますが、ベースにするのは過去問で十分です。過去問の中には、国家試験の傾向・必要な知識の全てが詰まっていますし、とにかく繰り返し何度も解く事が重要だと思います。過去問を解いていると、当然わからないところが出てきますので、そこはレビューブックを辞書のように活用する事で理解度を高めました。つまり過去問を解いて、わからないところはレビューブックで確認する。とにかく反復・反芻する事こそ勉強には重要だと経験から思います。

今思うと、国家試験の勉強をしている時は看護師になる事だけが全てでしたが、実際に看護師になって病院で働くと、認定・専門看護師や管理職など、次のステップが見えてきます。そう考えると国家試験というのは一つのステップであり、目指すところはもっと上なのかもしれません。学生のうちからより高い目標を持っていれば、「国試なんて余裕で合格してやる!」なんて高いモチベーションで勉強に臨めるのでは、なんて思います。

同窓生は今 1

とにかく‘笑顔‘で!!

長岡市みしま体育館 勤務
佐藤 彩さん(健康スポーツ学科2013年卒)

Q1 学部・学科
健康科学部　健康スポーツ学科

Q2 学生時代の思い出
バレーボール部の仲間と学年関係なく楽しく活動できたことです。

Q3 勤務先について
普段は長岡市みしま体育館に勤務していますが、夏の7・8月は長岡市和島B&G海洋センターというプールで働いています。

Q4 仕事について
体育館では体育館の管理業務と運動教室を行っています。海洋センターでもプールを管理しながらアクアビクスなどの水中運動教室を行っています。

Q5 大学の経験と仕事との関係
授業で学んだことや‘イキイキ運動教室‘での指導経験は今の仕事にすごく活きていると思います!

Q6 仕事に対するモットー
全てのお客様に笑顔で明るく接することと、感謝の気持ちを忘れないことです。

Q7 今後の夢、目標
もっと経験を積んで、新しい種目の運動教室を開きたいと思います。

Q8 最後に同窓生や在学生にメッセージを。
大学の4年間は長いようで本当にあっという間です。思う存分楽しく過ごして、やり残したことがないようにしてください!同窓生のみなさん、一日一日少しずつでも成長できるように頑張っていきましょう!!

同窓生は今 2

人に寄り添って

和歌山県社会福祉協議会 勤務
桐生 歩さん(社会福祉学科2008年卒)

Q1 学部・学科
社会福祉学部　社会福祉学科

Q2 学生時代の思い出
授業の空き時間にアイスを食べに行ったこと、海や買い物に出かけた何気ない時間が楽しかったです。

Q3 勤務先について
「和歌山県社会福祉協議会」では広域的な視点から、地域住民が主体となる福祉活動を進めるため、地域の最前線で住民に寄り添い、創意工夫をこらして活動する市町村社会福祉協議会の活動支援をはじめ様々な事業を実施しています。

Q4 仕事について
生活福祉資金を利用している方の電話相談や利用者の自宅を訪問し、様々なご相談をお受けしています。生活福祉資金は低所得者世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯への貸付であるため、生活状況をお聞きし、自立した生活が送れるよう助言したり関係機関へ繋げたりします。

Q5 大学の経験と仕事との関係
大学で得た知識が、相談支援の基礎となっています。また一緒に学んだ大学の友人との仕事や将来の話は、お互い共感できることが多く、日々の業務の励みとなっています。

Q6 仕事に対するモットー
職場での情報共有です。報告・連絡・相談がチームワークの向上に必要不可欠と考えます。

Q7 今後の夢、目標
新しい資格や知識を増やすため、今後も勉強していきたいです。またプライベートを充実させることも重要なため、趣味の幅も広げていきたいです。

Q8 最後に同窓生や在学生にメッセージを。
社会人になって旅行に行くことが増え楽しく過ごしていますが、大学時代にもっと旅行へ行きたかったと思います。みなさん大学時代に国内旅行・海外旅行に行き、新しい人との出会いや沢山の景色を見てきてください。

INFORMATION

卒業生の図書館利用について

在学中は図書館をご利用いただき、ありがとうございました。
本学図書館では卒業生にも図書館を開放しています。貸出を希望される場合は、利用カードを発行しますので下記をご参照の上、お申し込みください。

■ 利用条件　以下の条件以外は、学部学生同様のサービスが受けられます。

①貸出冊数:3冊　貸出期間:1週間(3回まで貸出延長可能)
②学外文献の取寄せや紹介状の発行は行っておりません。
③学内者の利用優先のため、指定図書の貸出はできません。
④研究室に所蔵されている資料はご利用いただけません。
⑤ノートPC利用による電源の使用は認めますが、ネットワークへの接続は不可です。
⑥認証を伴う、OPACからの予約やMy Libraryは利用できません。

■ 申込に必要なもの

①「新潟医療福祉大学図書館カード申請書」
(カウンターでご記入、または図書館ホームページよりダウンロードできます)
②本人であることを証明するもの(免許証などの顔写真があるものが望ましい)。
③発行手数料200円。更新・再発行時にも手数料がかかります。

同窓生は今 3

大学で学んだ事が仕事に直結

介護老人保健施設 豊浦愛広苑 勤務
鴨井 透さん(理学療法学科2013年卒)

Q1 学部・学科
医療技術学部　理学療法学科

Q2 学生時代の思い出
臨床実習で初めて患者様に接した時の緊張感

Q3 勤務先について
介護老人保健施設　豊浦愛広苑に勤務しています。新潟県北部の新発田市に位置する施設です。豊浦病院の5・6階に併設され、病院との連携によるトータルな医療サービスの提供を行うことができます。施設からは飯豊連峰の山並みや蒲原平野の緑を一望できる素晴らしい眺望も施設の特徴の一つです。

Q4 仕事について
理学療法士として維持期の利用者様を中心にリハビリテーション業務を行っています。

Q5 大学の経験と仕事との関係
大学の講義や演習・実習で学んだことはもちろんですが、日常の学生生活の全てが今の仕事の基礎になっています。

Q6 仕事に対するモットー
リハビリテーションを通じて利用者様のやる気と笑顔を引き出すことです。

Q7 今後の夢、目標
自分の専門分野にとらわれず、利用者様の生活や未来を見据えたリハビリテーションの提供を行えるようなセラピストになりたいと思っています。

Q8 最後に同窓生や在学生にメッセージを。
大学で学んでいることが仕事に直結します。将来を想像して講義や実習に取り組んでください。また学生というメリットを活かし、多くの事に興味を持ち、充実した楽しい日々を過ごしてください。人間力は何物にも勝る武器だと思います。

NUHW新着情報

2014年4月 医療技術学部 視機能科学科 誕生!!
～子どもから高齢者まで、幅広い領域で活躍できる「視能訓練士」を育成～

2014年4月、医療技術学部に「視能訓練士」を育成する視機能科学科が新たに誕生します。

視能訓練士は、人間の一生に関わる『眼』の健康管理を行う国家資格であり、病院等医療機関や特別支援学校、発達支援センターなど幅広い領域で活躍しています。近年では、"乳幼児や子どもに対する眼の健康管理"や"高齢者のロービジョン(低視覚)ケア"など新たな領域でのニーズが拡大しています。

本学の視機能科学科では、【視能訓練士(国家資格)】と【同行援護従業者(視覚障がい)】の同時取得に対応したカリキュラムを配置。視機能・医療・福祉・リハビリ・保育を学び、幅広い領域で活躍できる"現代社会のニーズに対応した視機能のプロフェッショナル"の育成を目指します。

これにより、新潟医療福祉大学は2014年4月より、4学部11学科の保健・医療・福祉・スポーツの総合大学となります。本学の大きな特色である、学科の枠を超えて学ぶ連携教育をさらに充実させ、『優れたQOLサポーターの育成』に向けて取り組んで参ります。

■ 注意事項
①有効期限は申込日から1年間です。期限切れの1ヶ月前から更新手続きをお受けします。
②期限切れの通知はいたしません。ご自身で管理されますようお願いいたします。
③利用カードの他人への貸与や譲渡はしないでください。
④本学への影響が懸念される場合、利用カードの発行や更新を控えることがあります。
⑤申請内容に変更が生じた場合は速やかにお知らせください。

*愛広会、愛宕福祉会ご所属の方や、本学実習先施設の職員の方にも図書館カードを発行しております。手数料不要、有効期限は3年となります。勤務先が実習先施設がどうかなど、詳細は図書館にご相談ください。

問合せ先
新潟医療福祉大学図書館 〒950-3198 新潟市北区島見町1398
TEL:025-257-4503(直通)　FAX:025-257-4504
URL:http://www.nuhw.ac.jp/~library/

facebook始めました!

只今「56いいね!」です。
皆さんの協力で「500いいね!」目指しましょう。
同窓生が繋がる新しいツールです。
まだ見たことがない方は
同窓会ホームページにあるバナーをクリック!!
フェイスブックへGO!

新潟医療福祉大学 同窓会 公式Facebook

学科近況

理学療法学科

理学療法学科 助教
江玉 睦明

理学療法学科の卒業生の皆さん、昨年度より理学療法学科に赴任しております江玉睦明（えだまむつあき）と申します。卒業生の皆さんにおかれましては多方面においてご活躍のことと思います。今回は、私から近況をお知らせします。

活気溢れる大学院生室

基礎ゼミ交流会

今春卒業した9期生は、理学療法士国家試験において、合格率100%達成という素晴らしい結果を残してくれました。今年度の国家試験対策にも、学生と教員が一丸となって取り組んでいるところです。また、4月には13期生104名が入学しました。大学生活にも大分慣れたようで伸び伸びと勉学に励んでいます。2年生や3年生は前期の試験で大分苦労したようです。4年生は前期の総合実習を終え、見違えるほど成長した姿を見せてくれています。現在は、本格的に就職活動や国家試験対策に取り組んでいます。教員では、新たに斎藤慧先生が助手として赴任され、色々な刺激をいただいています。

大学院は今年で9年目を迎え、今年度は7名が入学し、大学院生室は活気に満ち溢れています。最近では海外論文に掲載されるなど輝かしい成果を挙げています。興味のある方は是非、大学院への進学を考えてみてください。

最後に、理学療法学科ホームページ（http://www.nuhw-pt.jp/）はますます充実しています。是非、覗いてみてください。

皆さんの益々のご活躍を期待しています。

取材者:稲井卓真

作業療法学科

作業療法学科 講師
能村 友紀

作業療法学科の卒業生の皆さん、お元気でしょうか。

今年度から、新たに学科教員として外川佑先生（写真）が赴任されて、学科教員12名で頑張っています。

作業療法学科では、昨年度から国際交流事業を開始いたしました。昨年3月にはアメリカ・アリゾナ州フェニックス大学に約1週間の海外研修を行いました。作業療法学科からは2年生が参加し、大学での専門授業を体験することにより、学生同士の交流や海外での作業療法について見聞を広げることができました。昨年10月にはカナダ・クイーンズ大学作業療法学科マーゴ・パターソン教授を招聘して、カナダの作業療法に関する記念講演を行っていただきました。1～4年生全員が聴講して、英語による講演と質疑応答を通じて、国際感覚を養うことができました。今年もカナダへの海外研修を計画しています。

作業療法学科ブログ「サクサク放送局」（http://nuhw.blog-niigata.net/ot/）も随時更新していますので、学科の近況をチェックしてみてください。

取材者:吉井あい

言語聴覚学科

言語聴覚学科 学科長／教授
山岸 達弥

言語聴覚学科長だった糟谷先生が3月を以てご退職されましたので、その後任としてこの4月に私、山岸が学科長に就任しました。糟谷先生は4年間学科長の任に当たられました。また、渡辺眞澄先生も昨年度末にてご退職され、現在広島にてご活躍とのことです。

この4月からは講師の内山信先生と石本豪先生、助手の平沢絵里奈先生の3人をお迎えし、教員スタッフに加わっていただきました。内山先生は失語・高次脳機能、特に認知症関連を専門としています。石本先生は臨床心理士で、以前本学科にも勤務されていたので、ご存知の方も多いと思います。平沢先生はこの3月に本学科を卒業したばかりのフレッシュな先生です。

学科の活動としては、2年ぶりにロサンゼルス海外研修旅行を実施しました。2年生11名、引率は佐藤克郎先生と私で総勢13名と今までになくにぎやかな研修になりました。南カリフォルニア大学付属病院やレッドランズ大学などで研修してきましたが、これからも交流を深めていく予定です。

取材者:鈴木瑞穂

義肢装具自立支援学科

義肢装具自立支援学科 准教授
月城 慶一

日本全国、暑い夏でした。体調など崩されなかったでしょうか?社会人2年目以上の方は現場でバリバリ活躍されていることと思います。1年目の方は、少しは余裕が持てるようになりましたか?さて近況報告です。今年度は48名がAT学科に入学しました。この期は過半数が女子です。彼らは7月にバスケットボール大会でハッスルしました。特に勝敗にこだわらず教員も試合に参加し全員でいい汗を流しました。自由研究発表会では司会やタイムキーパーもすべて学生が担当しました。事前に発表会係が入念な打ち合わせとリハーサルをおこない活発な質疑応答も体験しました。

2年生は実習とレポートに追われた前期を過ごし、今は長期休み満喫です。すでに臨床実習を経験していた4年生は、たくましくなって帰ってきて夏休み返上で卒業研究に取り組んでいます。現在は3年生が臨床実習中です。毎日、どうしているのでしょうか?ちょうど今、会社で世話してくれている先輩もいますね!ありがとうございます!海外旅行も盛んです。すでに『空飛ぶ車椅子』のメンバーがタイに行ってきました。9月にアメリカと台湾研修があります。海外研修は毎年行いますので卒業生の皆さん!よかったら参加してくださいね!

取材者:秋場周

No.9秋 2013.9

健康栄養学科

健康栄養学科 助手
御子貝 佳実

僭越ながら、今回は、助手の御子貝佳実（本学科9期生）が、学科の近況報告をさせていただきます。まず、平成24年度後半の衝撃的な出来事は、本大学の礎を築いてくださった村山伸子先生がご退職されたことです。理由は、ご自身のビジョンを達成するための新たな出発と伺いました。熱き想いを抱き続ける先生に、学科の先生方及び卒業生は、ずっとエールを送り続けることと思います。さらなる衝撃は、渡邉榮吉先生のご退職です。ただ、幸い渡邉先生は、特任教員として引き続き大学に残られ、主に、大学院の臨床栄養専門コース（平成25年度新設）を担当されることになりました。お二人の先生のご退職と星野（保苅）先生の育児休暇に伴い、平成25年度は、入山八江先生（前:新潟市食育・花育センター）と永井徹先生（前:国立病院機構千葉東病院）、そして私、御子貝が赴任いたしました。さらに、川中健太郎先生の教授昇任、稲村雪子先生の特任教授昇任という喜ばしい人事もあり、健康栄養学科はさらにパワーアップした形でスタートを切りました。

平成24年度の学生の主な活動としては、米国研修（ロマリンダ大学、小児病院、トヨタ、小学校、高齢者施設訪問）と国内での地域貢献活動（セブンイレブンとのコラボ"野菜入り肉巻弁当"及び北区農業委員会様及び菓子工房ボンクールSAITO様との協働による"おいちーたると"の開発）が挙げられます。詳細は、学科ブログ（ニュートリ放送局）に掲載されていますので、是非ご覧いただければ幸いです。

取材者:河野仁美

取材者:小林清美

健康スポーツ学科

健康スポーツ学科 助教
山代 幸哉

健康スポーツ学科の卒業生の皆さん、元気にご活躍されていますか?

本年度は定員増により187名の新入生を迎え、学科全体では568名となりました。

これに伴い第7研究・実習棟（0棟）、陸上競技場、野球場が完成し,新しい研究機器やトレーニング機器など施設的にもますます充実してきました。

さらに、新強化クラブとして硬式野球部、女子バレーボール部、ダンス部が発足し、それぞれの目標に向けて切磋琢磨している様子は頼もしい限りです。新強化クラブの勢いに負けず、既存の強化クラブも力を発揮し、特に水泳部は日本選手権で男子2種目入賞の快挙を達成しています。

地域貢献活動に目を向けると、小学生のスポーツ教室や高齢者の健康運動教室に加え、地域産官学連携事業の「健幸づくり対策事業」や総合型地域スポーツクラブと連携しての「健康づくり教室」など、ますます健康スポーツ学科の存在価値は高まっています。

これまで卒業生のみなさんが残してくれた足跡に沿って後輩たちも逞しく成長しています。みなさんとの交流は後輩たちに刺激を与えてくれます。いつでも母校に遊びに帰ってきてください。待っています。健康スポーツ学科の「今」をお届けするオリジナルサイトもありますので、是非、覗いてみてください。皆さんのますますのご活躍を祈念しています。

取材者:大平紘史

看護学科

看護学科 教授
中山 和美

卒業生の皆様、お元気ですか。看護学科では先日、2年目の統合実習（4年生）を終えました。今年は全員が総合病院の病棟で実習する中で、複数の患者を受け持つ看護師に同行し、優先順位やタイムマネジメントについて考察しました。また、リーダーや師長の役割を学び、他職種との協働を見学しました。2週間の実習ですが卒業生からは就職した時のイメージがつき、リアリティショックの軽減に役立ったとの感想が寄せられています。実習中たまたまリーダー業務初日を迎えた卒業生と会いました。少し緊張していたようで、秘かにエールを送りましたが、3年目ともなると頼もしくみえました。頼もしいといえば、4月から1期生が教員として母校に帰ってきてくれました（6ページに登場しています）。久しぶりに会った時、看護実践と研究の両面からしっかり取り組んだ濃い3年間は彼を輝かせていました。他学科では既に何人も卒業生が教員となっていますが、看護学科では第1号の誕生です。卒業生は母校を発展させる原動力であり、後輩にとっても心強い存在です。

これからも卒業生がいろいろな立場で活躍してくれることを期待しています。

取材者:土佐奈都美

社会福祉学科

社会福祉学科 教授
星野 恵美子

1年生の基礎ゼミで、ゼミごとに「豊栄福祉交流センタークローバー（障がい者支援施設）」を訪問しました。社会福祉学科では、教育のあり方を多方面から研究中です。その結果、「将来への社会福祉専門職の卵として大学内での座学に加え、様々な社会体験活動を豊かにして専門職としての資質を伸ばして行こう」と考えました。その一環として、1年時に8組の基礎ゼミメンバー55人（8ゼミ×引率教員）で施設訪問し交流・見学を行いました。

多くの学生たちは障がい者に接することも、また、支援する専門職に会うのも初めての経験でした。障がい者の仕事への真剣さと、人懐こさに触れる貴重な機会を得ました。まだ、福祉の見方が広がる等の効果は未知数ですが、障がい者支援の現場で働く本学の卒業生たちの生き生きと活躍する姿を間近にして、将来の自分の姿のイメージ作りに役立ったようです。

同窓会の皆さん、あなたの後輩たちが先輩の姿を目標に頑張ろうとしています。

また、社会人向けには、本学の大学院に認定社会福祉士単位取得コースを設けました。ランクアップと仕事をしつつ学びを深める良いチャンスです。どうぞ、大学とのつながりを大切に生かしていきましょう。

取材者:小倉直人

新学科紹介 臨床技術学科

臨床技術学科 講師
川村 宏樹

臨床技術学科は、平成23年4月1日に開設され3年目に入りました。学生数は1年生100人、2年生99人、3年生95人、計294人の在籍です。学科の本拠地、第6研究・実習棟（N棟）5Fに各学年の学生が入れ替わり教員を訪ねてくる様子を見ると、ようやく学科らしくなってきたと感じるようになりました。本学科は、臨床工学技士と臨床検査技師の両国家資格の同時取得を目指しています。1期生の3年生は、両国家資格に次ぐ重要な第2種ME技術実力検定試験を9月に控えています。これは医療機器に携わる仕事に就く上で、大切な認定資格に位置づけられます。初の資格試験受験なので3年生の表情は一気に引き締まり、教員陣を務める学科の専任教員と共に夏休み返上で、合格を目指して夏期講習に励んでいます。

私たち教員陣は、今年3名の専任教員が増加され計16名になりました。教員は学生に対して教育内容の充実と資質の向上と共に、来年の両国家資格の取得に向け「今、何が学生に必要なのか」を考えながら教育に努めております。その一環として、10月から3年生対象に卒研ゼミが始まります。学生との対話を通して各個人の進路を具体化し、夢を実現できるように学生と共に取り組んでいきたいと思います。

新学科紹介 医療情報管理学科

医療情報管理学科 講師
髙橋 直樹

皆様は「メディカルクラーク®」という資格をご存知ですか?このメディカルクラークという称号は、一般財団法人　日本医療教育財団が実施する「医療事務技能審査試験」の合格者に付与される称号であり、『診療報酬請求事務業務や窓口業務など医療事務職として求められる能力を備えていることを証明するもので、現在数多くの「メディカルクラーク」が、全国の医療機関で活躍しています』。この試験は、およそ40年前から実施され、総受験者数は150万人、合格者は84万人以上といわれており、ここ数年は年間5万人の受験者がいるとのことです。

試験内容は、患者接遇に関する実技試験Ⅰ、医療事務知識に関する学科試験、診療報酬請求事務・診療報酬明細書点検に関する実技試験Ⅱの3科目から構成され、全ての領域において70%以上の得点率が求められます。

この試験は毎月実施されているのですが、2013年1月の医療事務技能審査試験において、医療情報管理学科の1期生は、合格率90%（全国平均54.7%）を達成しました。

医療情報管理学科の卒業生全員が医療事務職に従事するわけではないのですが、もし、皆様が患者様として病院に訪れた時、どの診療科に行かれるにしても、必ず受付や会計の担当者と接することになるかと思います。その際、医療事務の方々が汗を流している姿を見て、医療情報管理学科の存在も連想して頂ければ幸いです。

大学教員である我々が、大学事務局職員の方々がいないと教育や研究を実施できないと同様、事務職の存在は、病院のみならず、大学・官公庁・社会福祉施設・スポーツ施設・一般企業など、どの組織においても必要不可欠な存在であることを、今後とも学生にも伝えていきたいと思います。

北側グラウンド完成!!

大学の北側（第8駐車場奥）に陸上競技場・硬式野球練習場・テニスコートが完成しました。強化部である硬式野球部、陸上競技部の活動をサポートします。是非一度見に来てください。

硬式野球部始動!

硬式野球部が活動をスタートしました。学生野球の聖地「神宮」を目指して頑張りますのでご声援よろしくお願い致します。

No.9秋 2013.9

強化指定クラブ紹介

中村楓選手

女子サッカー部

「ユニバーシアード競技大会2013カザン」に日本女子代表として中村楓（健スポ4年・アルビレックス新潟レディース所属）が選出され、5位入賞に貢献いたしました。

女子バレーボール部

2部リーグ優勝。1部昇格決定!!5月23日（木）～26（日）に石川県金沢市総合体育館にて行われた、春季北信越大学バレーボール選手権大会において、5戦全勝（2部リーグ）で優勝し、創部約2ヶ月にして、1部リーグ昇格を果たしました。

水泳部

高田恭兵選手（健スポ3年）

松井浩亮選手（理学2年）

4月11日（木）～14日（日）、新潟県の長岡ダイエープロビスフェニックスプールにて、第89回日本選手権水泳競技大会が開催され、本学水泳部から、高田恭兵選手（健スポ3年）と松井浩亮選手（理学2年）の2名が入賞を果たしました。

陸上競技部

6月1日（土）·2日（日）、長野市営陸上競技場において第97回日本陸上競技選手権大会（混成競技）が開催され。大関奏（理学2年）が入賞に1歩届かず、9位という結果でした。

硬式野球部

今年4月に新設された硬式野球部の初練習が、4月7日（日）に行われ、新潟明訓高校前監督で甲子園出場8回の実績を誇る佐藤和也監督の指導の下、一期生31名が汗を流しました。

ダンス部

8月7日（水）～8月10日（土）に開催された第26回全日本高校大学ダンスフェスティバル（神戸）において、創作コンクール部門で入選致しました。

男子サッカー部

6月22日（土）·23日（日）に準決勝·決勝がおこなわれた第37回総理大臣杯北信越大会において第3位となりましたが、昨年に続いての全国大会出場はなりませんでした。

男子バスケットボール部

今年度から梅津卓監督を迎え新生男子バスケットボール部がスタート致しました。

女子バスケットボール部

5月3日（金）～5月5日（日）、長野県松本市総合体育館において、第47回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール選手権春季リーグ戦大会に出場し、全勝優勝を果たしました。

新潟医療福祉大学長野県人会が設立されました。

7月10日（水）、新潟医療福祉大学にて第1回長野県人会を開催致しました。

新潟医療福祉大学では、学部学生·大学院生だけでなく、卒業生も対象に、必要な教育的及び学術的サービスを必要な時に必要なだけ受けることができる、『めんどうみの良い大学』を標榜しております。その一環として同郷の学生·教職員のネットワーク化によって、より充実した大学生活を送ることができる環境作りを目的とした県人会を発足しており、長野県人会は、福島、佐渡（島人会）に続いての立ち上げとなりました。

本学には現在、長野県に関わりを持つ在学生、教職員が約150名在籍しております。

初会合には、学生や教職員ら約25名が参加し、学生らは長野県の地図の上に、出身地を示すシールを貼り、「実家でリンゴを育てている」「実家が杜氏をしている」などと自己紹介を行いました。

また、長野県内の出身エリア別にグループに分かれ、名物の食べ物や観光名所などを話し合いました。

今後、在学生のニーズに応じて様々なエリアの県人会を立ち上げ、学生生活サポートにさらなる尽力をして参ります。

同窓会支援室　加藤　裕之

※この記事の文章は、新潟日報朝刊掲載記事および本学ホームページTOPICS掲載記事より流用、一部修正させていただいたものです。

第13回 新潟医療福祉学会·学術集会

期　　日：平成25年10月19日（土）
会　　場：A棟3F A301（大講堂）、GA棟2F　GA203（a～d）
学会テーマ：「 現場から求められている医療·福祉系大学の課題 」

新潟医療福祉学会は、平成13年の発足から今年で13回目を迎え、平成25年10月19日（土）、新潟医療福祉大学を会場として開催する運びとなりました。

今年度の学会では「現場から求められている医療·福祉系大学の課題」をテーマに取り上げました。大学内にいますと教員はとかく教条的になりがちで、現場から離れた考え方にとらわれてしまう可能性があります。また学生も現場からの新しいメッセージに耳を傾けることにより修学の意欲を高めることができます。多くの皆様のご参加をいただき、それぞれの立場から活発なご発表、討議をしていただき、有意義な午後のひと時をお過ごしいただければと企画いたしました。

8:30	受　付
9:30～9:35	開会式 会頭挨拶：新潟医療福祉学会 会頭 山本　正治（新潟医療福祉大学 学長） 大会長挨拶：第13回 新潟医療福祉学会·学術集会 大会長 追手　巍（新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 学科長）
9:35～11:55	特別講演 司会　追手 巍（新潟医療福祉大学 医療福祉学部 臨床技術学科 学科長） 「医療·福祉系大学に何を期待するか」 講師：内山 聖（魚沼基幹病院 院長、前新潟大学医歯学総合病院 院長）
14:20～16:20	シンポジウム 「現場から求められている医療·福祉系大学の課題」 座長　大西 秀明（新潟医療福祉大学 医療技術学部 理学療法学科 学科長） 長濱 大輔（新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科 教授） シンポジスト 1.「看護師の立場から」　野本 伊江子（西新潟中央病院 看護部長） 2.「理学療法士の立場から」　深川 新市（新潟県理学療法士会 会長） 3.「臨床検査技師の立場から」　渡辺 博昭（新潟県臨床検査技師会 会長） 4.「臨床工学技士の立場から」　後藤 博之（新潟県臨床工学技士会 会長） 5.「管理栄養士の立場から」　稲村 雪子（新潟県栄養士会 会長） 6.「社会福祉士の立場から」　高野 八千代（南魚沼福祉会 魚野の家 施設長）
16:30	会頭賞·奨励賞表彰 閉会式 実行委員長挨拶：第13回 新潟医療福祉学会·学術集会 実行委員長 中村 藤夫（新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科）

各種証明書の請求について

卒業証明書や成績証明書などの各種証明書の請求は、事務局 教務課窓口で直接請求するか、郵便で請求するかの二通りです。
（電話やFAX、E-mailでは受付しておりません。）

直接請求する場合

事務局前発行機にて申請書を発行の上、窓口へご提出ください。
※申し込みの際に、本人確認ができるもの（自動車運転免許証、保険証など）を窓口で提示してください。

窓口受付期間　月曜から金曜（土日・祝日を除く）　8:45～17:00

※夏季休業、冬季休業、入試などで業務を執り行っていないこともあります。ご承知おきください。

郵便で請求する場合

証明書発行申込書（下記ダウンロードボタンから取得可）、もしくは次の必要事項を書いたメモと身分証明書の写し、発行料（定額小為替にすること）、返信用定型（長3号）封筒【自分の郵便番号、住所、氏名を記入の上、返信郵便用に切手を貼ったもの（切手代証明書1通・・80円、2通・・90円、3通以上は事前に問い合わせてください※速達の場合はプラス270円）】を事務局 教務課宛に郵送してください。
身分証明書は、運転免許証、パスポート、在留カード(両面)、健康保険証、住民基本台帳カード(写真付のもの)のいずれかを原則とします。住民票、社員証、他大学学生証は不可です。また、結婚等により改姓名があった場合は、加えて戸籍抄本（写し可）もご提出ください。

●必要事項

1.氏名（フリガナも記載。また姓を変更した場合、旧姓も明記。）
※英文の証明書が必要な場合は、ローマ字表記も明記。
2.学籍番号（覚えていれば記載のこと。）
3.出身学部・学科
4.本学を卒業（修了）した年月
5.連絡先（平日の昼に連絡の取れる電話番号等）
6.必要な証明書の種類、部数（例：卒業証明書2通希望）
※厳封が必要な場合は、その旨も明記。
※証明書交付願に記載された氏名、住所、生年月日等の個人情報は、証明書作成・発行に関すること以外には利用いたしません。

●発行可能な証明書と発行料

※発行料は郵送の場合、必ず定額小為替（郵便局にて購入可）にすること。

•学業成績証明書	1通 300円（英文は500円）
•卒業証明書	1通 200円（英文は500円）
•修了証明書	1通 200円（英文は500円）
•各種資格取得証明書	1通 200円

※その他記載のないものについては、直接事務局までお問合せください。

●発行日数

証明書の発行は和文で2～3日、英文で1週間程度かかります。この日数に郵送日数がかかりますので、余裕をもって申請してください。

請求先住所　〒950-3198　新潟市北区島見町1398番地
新潟医療福祉大学　事務局　教務課行

同窓会ホームページのお知らせ

皆さん、同窓会ホームページをご覧になっていますか?

母校や同窓会の最新ニュースは日々更新されています。また、活躍している卒業生を紹介する「同窓生は今!」や、「こころに届くいい話」などの卒業生情報を掲載しています。是非、定期的にご覧ください。また、同窓生の方に役員が寄稿のお願いをしております。役員から依頼があった際は、ぜひご協力をお願い致します。

会員情報・住所変更届のお願い

住所・勤務先・氏名の変更などは、同窓会トップページの「会員情報・住所変更届出」から手続きをお願いいたします。

また、同窓会に関するご意見・お問い合わせ・投稿は、次のアドレスにお願いします。

E-mail: dosokai@nuhw.ac.jp

同窓会サイトについて（会員情報・住所変更届出）
http://nuhw-dosokai.jp/

編集後記 Hennsyu-kouki

同窓生の皆様こんにちは。今年は気候が安定しない日が長く続きましたが、いかがお過ごしでしたでしょうか。
さて、今回の特集ページにも掲載しました『PT・HN連携研修会』はご参加頂いた先生方、同窓生の皆様のおかげで大変実りの多い研修会となりました。研修会を盛り上げて頂いて本当にありがとうございました。この会に参加し、実際の業務や業務を行う上での悩みなども含め、お互いの職種への理解を深めることで情報共有の方法も連携のしやすさも変わってくると改めて実感した方や頑張っている同窓生に会ったことでモチベーションの向上に繋がった方が多かったことと思います。こういった学科を越える研修会は本学の強みでもありますので、今後も発展させていき、この様な場をもっと多くの方に利用してもらいたいと同窓会では考えています。是非、今後も同窓会主催のイベントにご参加頂き、盛り上げて頂ければ幸いです。(健康栄養学科2010年卒 内藤舞)

新潟医療福祉大学同窓会
問い合わせ先：新潟医療福祉大 事務局内 同窓会支援室
新潟市北区島見町1398番地
メールアドレス　dosokai@nuhw.ac.jp
電話番号　025-257-4455

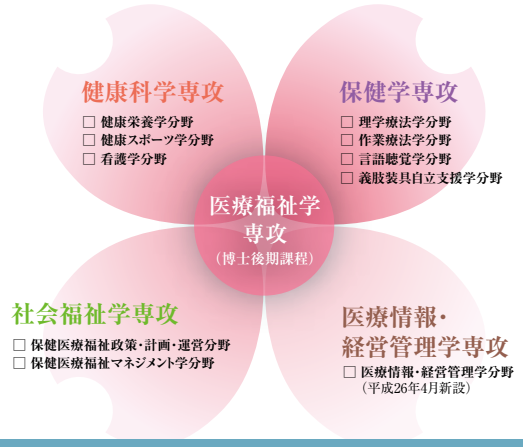
大学院

新潟医療福祉大学 医療福祉学研究科

次代の保健・医療・福祉・スポーツ分野を担う、教育者・研究者・高度実践専門職業人を目指す。

本学大学院では、社会人の方も学びやすい昼夜開講制に加え、長期履修生制度、各種奨学金制度など、様々な面で皆さんの「学びたい」をサポートしています。

また、国家資格を有している方が、さらに専門的で高度な技術や知識の修得を目指す、または各種職能団体等による専門職資格の取得を目指し、かつ修士の学位取得もできる「高度専門職業人プログラム」を提供しています。キャリアアップを目指している方、少しでも興味をお持ちの方はお気軽にお問い合わせください。



■ 修学をサポートする制度

- ○本学卒業生は、入学金半額（10万円）免除
- ○平日は18:10から授業スタート。土曜開講や集中講義もあります。
- ○長期履修生制度（修士課程:最長4年、博士後期課程:最長6年）
- ○教育訓練給付金指定講座（一部対象外）

■ 各種奨学金制度

- ○大学院無利子貸与奨学金（学費の全額または半額を無利子で貸与）
- ○特別研究奨学金（卒業生対象、年間15~20万円を給付）
- ○修学援助奨学金（2年時に15~20万円を給付）

【高度専門職業人プログラム】

■ がん看護専門看護師（CNS）コース

日本看護協会専門看護師認定審査に合格した方に与えられる高度な看護資格。本学では「がん看護」領域について認定されたカリキュラムを有しています。

■ 臨床徒手理学療法コース

理学療法における徒手療法の高度な技術、理論について学ぶコースです。

■ 臨床栄養専門コース

病態栄養専門師、糖尿病療養指導士、静脈経腸栄養学会サポートチーム専門療養士の資格取得を念頭に、臨床現場において活躍できる管理栄養士を養成します。

■ 認定社会福祉士単位取得コース

認定社会福祉士の単位の一部が取得できるコースです。

注目 優秀で経済的に修学が困難な方を対象に、修士課程学費減免特待生制度を設けています。採用された場合、2年間合計で**最大110万円の学費が減免**されます。（分野や年次により減免額は異なります）

詳細は大学院HPをご覧ください
http://www.nuhw.ac.jp/grad/

*資料請求やお問い合わせは本学大学院入試事務室まで。 TEL:025-257-4455（代） FAX:025-257-4456 E-mail:grnyuusi@nuhw.ac.jp

History

ホームカミングデーについて

<ホームカミングデーの由来>

ホームカミングデーとは、その名の通り、「家に帰ってくる日」です。

「家」とは新潟医療福祉大学。つまり、同じ家の中で学び、過ごした私たちは「家族」です。そんな、家族が家に帰ってくる日のための催しが『ホームカミングデー（HCD）』です。

<NUHW HCD設立の経緯と想い>

5学科、300名ほどで開学した本学は、当時まさに家族のような密な繋がりのある大学でした。4学年が揃った時点でも1,500名弱。小規模の本学だからこそ、フロンティア精神に溢れ、エネルギッシュな学生の集団でもありました。

同じ志を持ち、学んだ家族が、社会へ出てそれをどう昇華させ、還元させているのか。そんな家族の「今」を知るための場を作りたい。それがNUHW的HCDの始まりです。

いくつ歳が離れていても、同じ大学で学んだ人には親しみが持てます。それが同窓生である「家族」です。私たち新潟医療福祉大学同窓会、つまり卒業生一同は、いつまでも「家」のことを誇りに思い、「家族」と共に支え合い、発展させていきたい。

そんな想いを込めてHCDをスタートさせました。

<NUHW　HCDのこれまでとこれから>

第1~3回のHCDは、著名な方からの講演を主に行ってまいりました。それは、同日に開催される伍桃祭への支援（同窓会準会員である在学生支援）でもあるからです。しかし、今年度は、より同窓生のための、そして将来の同窓会正会員である在学生のための企画を考えました。詳しくは次ページをご覧ください。

今後も役員一同、よりよいHCDを企画していきたいと考えています。皆様からアイデアやご意見をいただければ嬉しく思います。

ご意見はdosokai@nuhw.ac.jpまで。

■第1回（平成22年）
渡部陽一氏（戦場カメラマン）
■第2回（平成23年）
おおたわ史絵氏（内科医／作家）
■第3回（平成24年）
池谷幸雄氏（オリンピックメダリスト）

新潟医療福祉大学同窓会主催

ホームカミングデー

「同窓生による専門職実践報告会」
「在学生による連携総合ゼミ発表」

開催日：平成25年10月13日(日)
会　場：新潟医療福祉大学内講義室
入　場：無料

今年春に卒業した同窓生による半年間の専門職経験を通した実践報告を行います。理学療法、作業療法、言語聴覚、義肢装具、健康栄養、健康スポーツ、看護、社会福祉の8分野の現場における、フレッシュでリアルな話をお聞きいただけます。

また、異なる学科編成の在学生チーム(4年生)による「連携総合ゼミ発表」も予定しています。発表後は先輩から後輩へ向けたアドバイスや国家試験に臨む心構え等の話を交えた交流を行います。卒業生・在学生が真剣に取り組んだ発表をぜひご覧ください。

また発表者以外の方も座談会にご参加いただけます。皆様のお越しをお待ちしております。

【第1部】『プレゼンテーション』
同窓生による半年間の専門職実践報告会
在学生(4年生)による連携総合ゼミ発表
14:45～16:15(予定)

【第2部】同窓生と在学生との『交流』
同窓生と在学生との座談会
発表に関するアドバイス
国家試験に臨む心構え等について
16:30～17:10(予定)

<見学・参加お申し込み方法>

① 郵送によるお申し込み
同封の別紙お申込み用紙に必要事項をお書きの上、専用返信用封筒にて同窓会支援室までお送りください。

② Eメール・お電話によるお申し込み
大学事務局内同窓会支援室までお申込みください。氏名・卒業学科・卒業年をお知らせください。
Eメール：dosokai@nuhw.ac.jp　電話：025-257-4455(代)

当日飛び入り参加も可能ですが、資料の準備の関係がございますのでなるべく事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

伍桃祭

10/13(日)・14(月・祝)
13日：10:00～18:00／14日：10:00～16:30
会場：新潟医療福祉大学

13(日)
- 和太鼓部発表
- 書道部パフォーマンス
- 手話部発表
- 吹奏楽部&手話部発表
- 吹奏楽部発表
- 地域交流
- 舞桃会
- チーム対抗クイズバトル

14(月・祝)
- おるんちょ
- QOL向上委員会
- NUHW Ms.&Mr.コンテスト
- 軽音部ライブ
- ダンスサークル RISE

特別ゲスト **SKY-HI**
日時：10月13日14:30～
会場：第2体育館
参加費無料 ※優先券配布あり

伍桃祭ホームページ
https://sites.google.com/a/nuhw.ac.jp/gotousai2013/

SKY-HI 日高光啓（ヒダカミツヒロ）
Birth Date: 1986/12/12
Birth Place: 千葉県
Height: 170cm
Blood Type: O 型

2012に自身主宰のコラボレーション楽曲制作企画「FLOATIN' LAB」が話題となりCD化してリリース。KREVA等多数アーティストの楽曲への客演や各地でのライブも経て、同年の「WOOFIN' AWARD 2012」のベストオブラッパー部門を受賞。2013年には初の全国ツアーを行い、Zepp DiverCity Tokyo公演でファイナルを飾る。音楽シーンの注目を集めるなか、8月7日、満を持してソロメジャーデビュー。